

計画事業番号	00278	事務事業名	文化施設修繕事業	担当部署	教育部文化課	電話	372-7667
--------	-------	-------	----------	------	--------	----	----------

【基本情報】

事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		根拠法令等				
事務事業開始年度	平成20年度		個別計画等	北広島市教育基本計画2011-2020			
〃 終了予定年度							
ソフト・ハード区分	ソフト事業	会計区分	一般会計	補助単独区分	単独	新規継続区分	継続

【事業概要】

1 総合計画体系	(第 2 章)	人と文化を育むまち
	(第 7 節)	芸術文化の振興
	(施策 1)	個性豊かな地域文化の振興
2 対象	文化施設(芸術文化ホール・図書館)の建物本体及び設備	
3 目的と内容	【事業概要】 文化施設の安全性や利便性などの機能維持を図るため、各機器等の耐用年数なども考慮しながら、保守点検等で不具合が確認された設備や箇所を計画的に修繕する。	
4 実施内容(手段)	27年度まで	平成22年度 冷温水機ボイラー分解修繕、非常用蓄電池交換修繕、吊物ワイヤー(一部)交換修繕 平成23年度 空調設備分解修繕、舞台吊物電子制御盤等修繕 平成24年度 舞台音響設備周辺機器修繕、文化施設シーリング修繕 平成25年度 電波障害対策設備の内、電波障害解消世帯(20世帯)の設備撤去修繕 冷温水機ボイラー、温水機ボイラー、空調設備の分解整備修繕 平成26年度屋上防水シート改修工事、正面玄関外部及び駐車場監視カメラ借上 平成27年度吊物・活動室屋上防水改修工事(その2)／ホール、活動室、図書館閲覧用、AVサロン等椅子修繕 駐車場入場ゲート修繕 給水加圧ポンプ制御盤修繕 ※平成25年度から芸術文化ホール設備修繕事業を分割
	28年度	ガレリア・図書館屋上防水改修工事(その3)／練習室床修繕

【事業の計画・実績】

平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
計画	実績	計画	計画	計画	計画	計画	計画
吊物・活動室屋上防水改修工事(その2)／ホール、活動室、図書館閲覧用、AVサロン等椅子修繕	吊物・活動室屋上防水改修工事(その2)／ホール、活動室、図書館閲覧用、AVサロン等椅子修繕 駐車場入場ゲート修繕 給水加圧ポンプ制御盤修繕	ガレリア・図書館屋上防水改修工事(その3)／練習室床修繕	ガレリア・図書館屋上防水改修工事(その4)／図書館空調設備修繕/非常誘導灯交換工事/文化施設椅子修繕	シーリング・インターロッキング改修工事			

【評価結果・評価コメント】

総合判定		平成29年度に向けた具体的な方向性		評価区分
前年度2次評価	現状継続	現状継続とする。		「拡大」 「現状継続」 「要検討」 「見直し」 「統合」 「休止・廃止」 「終了」
1次評価	現状継続	施設の安全な活用を進めるため、今後も計画的に改修が必要である。		
2次評価	現状継続	現状継続とする。		

【事業費の推移】

(単位:千円)

			平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
決算額、当初予算額又は推進計画額			20,250	25,472	27,347	30,000
事業額	直接事業費	国支出金	0	0	0	0
		道支出金	0	0	0	0
		地方債	15,100	16,700	0	0
		その他特財	0	8,772	0	0
		一般財源	5,150	0	27,347	30,000
		① 合計	20,250	25,472	27,347	30,000
	人件費	② 人数(年間)	0.10	0.10	0.10	0.10
		③ 1人当り年間平均人件費	9,000	9,000	9,000	9,000
		④ =②×③	900	900	900	900
		総事業費①+④	21,150	26,372	28,247	30,900

【評価指標】

指標名		単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
活動指標	① その他の施設修繕件数	件	21	25	25	25
		目標値				
		実績値	21			
	②	目標値				
	実績値					
	③	目標値				
	実績値					
	④	目標値				
	実績値					
成果指標	①	目標値				
	【指標の定義(算式等)】	実績値				
	②	目標値				
	【指標の定義(算式等)】	実績値				
	③	目標値				
	【指標の定義(算式等)】	実績値				

【評価項目】

チェック項目	評点	コメント
妥当性 ・税金を使って行うこと(補助すること)が妥当ですか？ ・上位の施策への貢献度は大きいですか？ ・特定の団体の利益に偏っていませんか？ 【評点欄】3妥当、2どちらかという妥当、1妥当でない 【コメント欄】理由を記入	3	文化施設(芸術文化ホール及び図書館)は経年の利用により、建物本体及び付帯設備に劣化による影響が現われてきていることから、安全な利用を進めるためにも必要に応じた修繕は必要である。
達成度 ・計画どおりに成果があがっていますか？ 【評点欄】3あがっている、2どちらかといえばあがっている、1あがっていない 【コメント欄】理由を記入	3	経年変化による劣化の影響が大きくなるものと見込まれるが、設備毎の耐用年数や定期点検により効率的で計画的な整備や修繕を進めている。
成果向上 ・成果が現状よりも向上する可能性がありますか？ 【評点欄】3余地なし、2余地あり、1余地大きい 【コメント欄】成果を向上させるための方策、代替策を記入	2	修繕事業の推進にあたっては、交換製品や部品などの選択時に、耐久性、環境面や省エネ効果に留意していく。
経済性 ・現在の成果を落とさずにコスト(予算・所要時間等)を削減するための方法はありませんか？ 【評点欄】3余地なし、2余地あり、1余地大きい 【コメント欄】コストを削減するための方策、補助金の減額・削減について具体的に検討し、検討内容を具体的に記入	2	修繕事業の実施にあたっては、新たに導入する内容について、効率性を考慮する。

【法律で実施が義務付けられている事務事業か】

法律の義務付けあり

法律の義務付けなし

【民間活力の活用性評価】
(事業担当部局が評価)

民間等での実施または市民等との協働が可能である。

民間等での実施または市民等との協働の可能性はない。